
タイトル.. 汐製菓会社の新作16 キャン
デイ3

登場人物

- ・ 汐 (30代)

汐製菓会社の社長。「面白きことも無
き世を面白く」をモットーに奇想天外
な菓子商品を発案する。快活で型破
りな性格。

- ・ 塩田 (30代)

汐の秘書の女性。真面目で心配性だ
が、汐の発想にいつも振り回される。実
は大のお菓子好きで、そのために製菓
会社に就職した。

あらすじ

汐製菓会社は、常にユニークな新商品を世に送り出すことで知られている。ある日、社長の汐はまたもや新たなアイデアを思いつく。それは、なんと『焼き鮭味のキャンディ』！「面白きことも無き世を面白く」をモットーとする汐にとって、このアイデアこそが世界を驚かせる絶好のチャンスだと思っている。しかし、その突拍子もない発想に、秘書の塩田は不安を隠せない。

果たして、この奇抜なキャンディは国内外の人々にウケるのか！？

シーン② 汐のオフィス

（オフィスにはデスクや書類が整然と並び、壁には奇抜な菓子商品のポスターが飾られている）

汐…（熱心にデスクに座って考え込む）うーん、そろそろ新作を考える時期だなあ。何かパンチの効いたものが欲しいな…。

（塩田が資料を抱えて入ってくる）

塩田…（落ち着いた声で）社長、お疲れ様です。来週の会議の資料をまとめました。

汐…（パツと顔を上げて）塩田、聞いてくれ！
またすごいアイデアを思いついたぞ！

塩田…（若干警戒しつつ）また…ですか？
度はどんなアイデアなんですか？

汐…（胸を張って）焼き鮭味のキャンディだ！

塩田…（目を丸くして）…え？焼き鮭、ですか？

汐… そうだ！これまでに誰も考えつかなかった味だ！鮭の香ばしい風味をキャンディで楽しめるなんて、誰もが驚くこと間違いなし！

塩田…（困惑して）いや、待ってください。キャンデイって普通、甘いものじゃないですか？しかも鮭って魚ですよね…。

汐…その通り！だからこそ新しい！普通じゃないからこそ、面白いんだよ！

塩田…（ため息をつきながら）でも、果たしてそんな味をみんなが喜んでくれるんでしょうか…。

シーン②：開発室

（開発室には試作品がずらりと並び、研究員たちが忙しそうに動き回っている）

汐…（研究員に指示を出しながら）みんな、聞いてくれ！次の新作は『焼き鮭味のキャンデイ』だ！最高の鮭の風味を再現してくれ！

研究員…（疑問に満ちた顔で）焼き鮭…で
すか？

研究員…（興味津々で）確かに、誰もやった
ことがない味ですね！

汐…そうだろう？だからこそチャンスなんだ！
鮭の旨みと香ばしさをそのままキャンディに閉
じ込めて、世界に衝撃を与えるんだ！

研究員…（慎重に）でも、社長…それって本
当にお菓子として成立するんでしょうか？

塩田…（心配そうに）私も少し心配です。消
費者の反応が予測できませんし…。

汐…大丈夫、心配するな！私の直感を信じ
てくれ！面白いことは成功するに決まっ
てる！

研究員…（面白がって）よし、それならやっ
てみましょう！まずは試作品を作ってみます！

シーン3: 試食会

(会社の会議室で、試食会が開かれている。)

参加者は社員や招待客など)

汐:(自信満々に)さあ、みんな！これが我が社の新作、『焼き鮭味キャンディ』だ！ぜひ味わってください！

(参加者たちは恐る恐るキャンディを手にする)

塩田:(内心ドキドキしながら)どうか、受け入れられますように…。

参加者:(口に入れてすぐに驚いた顔をする)うわっ！…これ、鮭の味が本当にする！

参加者:(笑いながら)意外と悪くない！でも、キャンディとしてはどうだろう…。

参加者:(不思議そうに)うーん、なんだろう…何かが違う気がする。

汐…（意外な反応に）どうだ、みんな！これが新しい味だ！

塩田…（小声で）社長、反応が微妙ですよ…。

汐…（楽観的に）大丈夫、これは始まりに過ぎない！さらに改良を加えれば、きっと大ヒットになるさ！

シーン④ 海外市場への挑戦

（汐と塩田は海外の展示会に参加している）

汐…（自信たっぷり）これを機に、世界中に『焼き鮭味キャンディ』を広めよう！日本のユニークな味を世界に届けるんだ！

塩田…（心配そうに）でも、果たして海外の人々が受け入れてくれるのでしょうか…。

外国人…（興味津々で）すみません、これは何味ですか？

汐…（笑顔で）これは焼き鮭味のキャンディです！これまでにない新しい味を体験してください！

外国人…（驚いて）鮭の…キャンディ？これは新しいですね！

外国人…（試してすぐに苦笑い）うーん…面白いですけど、万人受けするかどうかは…。

外国人…（好奇心旺盛に）新しいものに挑戦するのは好きですが、これは…ユニークですね。

塩田…（こっそり）やっぱり…受け入れるには時間がかかるかもしれません…。

汐…（微笑んで）いいんだよ、塩田。新しいものが受け入れられるまでには時間がかかる。

でも、誰もが驚く新しい世界を作り出すのが、私たちの仕事だろうか？

シーン5: 結末

(会社のオフィスに戻ってきた汐と塩田)

塩田: (落ち着いて) 社長、結局『焼き鮭味キャンディ』はどのようなのでしょうか？

汐: (考え込んで) ふむ、確かにすぐには大ヒットとはいかなかったが:これは挑戦の一部に過ぎない。私たちは常に新しいものに挑戦し続ける。それが汐製菓の魂だからな！

塩田: (笑顔で) そうですね。次の新作も、また楽しみにしています。

汐: (ニヤリと笑って) さあ、次は何を作ろうか。納豆味のグミなんてどうだ？

塩田…（呆れつつも笑顔で）それもまた、斬新すぎますね…。

エンドクレジット

（エンドクレジットとともに、次々と奇抜な商品アイデアがテキストで流れる）

終わり